

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一道 第54号

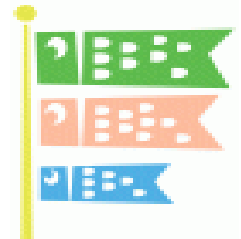
発行:2017年5月7日
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
〒739-0147 副住職 天野英昭
東広島市八本松西6丁目10番1号
☎・FAX 082-428-0160・082-428-1360

宗祖親鸞聖人降誕会法座

日時 5月19日(金) 9:00~15:00頃

朝席 9:00~ 昼席 13:00~

ご講師 安國 真雄 師(志和町内区 西方寺住職)



第67回歎異抄輪読会

日時 5月25日(木) 19:00~20:30頃

ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です

★天龍寺仏教壮年会 月例会

5月31日(水) 19:00~20:30



天龍寺仏教婦人会法座並びに演奏会のお礼

先月4月16日(日)に当山で、天龍寺仏教婦人会法座並びに演奏会がありました。遠近各地より、多くの方のご参詣をいただきました事、厚く感謝申し上げます。さらに法座・演奏会を行うにあたり前日より天龍寺仏教婦人会・天龍寺仏教壮年会のみなさまにはお忙しい中、お手伝いをいただきました事に重ねて感謝申し上げます。幸いです。

演奏会に来てくれました橋川君・小玉さんには東京より駆けつけてくれありがたいと思ったことでもあります。また、来年もみなさま方のご理解・ご支援・ご協力等を賜りながら、この度の様なご縁をいただけたらありがたいと存じます。

いずれは『亡き父・夫』と言われる存在である私。(Ⅱ)



当山の桜は約 100 年近く経っております。以前当山に、ご参詣をいただきました、木の専門のお方が、この様な事を言われました。

「この種の桜の寿命は 60 年～80 年くらいだ。だからこの桜は、すでに寿命を過ぎてている。」そのお言葉を踏まえ桜を見ますと木には苔が生え、多くの枝は弱り、人間に例えるならば、瀕死の状態かもしれません。それでも桜は必死で生きようとしています。桜を見ていると植物・動物に限らず生命を持った物の本能と申しましょうか、命ある限り生きようとするのかもしれませんが。

また以前、ある方がこの様な主旨の事を言われた事がありました。「もうこの世には思い残すこともなく、身体が思うように動かず、辛い・苦しい思いをしている毎日であり、早くこの苦しみ・辛さから解放されたいと思う事がある。けれど腹が減るんじゃ。それはの、頭ではこの世には思い残すこと等ないと思いながら五感・肉体は生きろというとるんじゃ。」とても考え深いお言葉だと思った事がありました。

前にも触れましたが、一般的な通念に従いますと行き止まりの道を歩む私たちを、海に浮かぶヤシに例えて、先生にしばしばご教示をいただきます。右から風が吹けば左に流され、左から風が吹けば右に流され、勝ったと言い浮かび、負けたと言い沈み、得したと言い浮き上がり、損をしたと言い沈み、身体の調子が良いと言い浮き上がり、身体の調子が悪いと言い沈む等の毎日を繰り返しながら、行き止まり、つまり深い海に沈む前に自分の人生を振り返り「自分の人生とは一体何であったのか。」と問わざるおえない人生をおくっているのかもしれませんが。

この娑婆では、日々苦しみ・辛い思いをし・時に大きな悲しみに出遭い・不安・恐怖等におびえながら生きていかななくてはなりません。現生十種の益であるげんしょうじゅっしゅ 転悪成善・やく 転悪成徳ではありませんが、日々翻弄される様々な事も含め、順縁・逆縁を南無阿弥陀仏のご縁としていただきながら、一方で日々出遭う多くのご縁は自分の意図しないご縁・願わないご縁が多く、その置かれた所で、知性・理性等の所では、出来るだけ言ってはならないと自分なりに律しながらも、謙遜ではなく、哀しいかな弱い存在である私の口から出てしまう不平・不満・愚痴等で、与えられたご縁が汚れ・濁れる中で、少しでも自分なりの蓮の花を咲かせることができればありがたいと思う事でもありません。

さらに、この娑婆のご縁がきれますと大無量寿経の第十八願の「至心信樂して我国に生まれんと欲へ」との大きな願い・呼び声のもとの中で、行き止まりのない、お浄土に生まれさせていただく永遠の道を歩ませていただければと思う事でもあります。

最後に、現代社会は知性・理性中心主義の時代であると思います。さらに今後、益々人間は知性・理性等に磨きをかける事だと思います。数百年前では神・仏の領域であった宇宙誕生の理由・生命の誕生等・IPS細胞の発見からさらに進み、人間の臓器の創造等、その様な事は現代社会では、人間の領域となっています。

しかしながら、知性・理性等の所では戦争等はいけないことと理解しながら、有史以来戦争が絶える事はありません。高飛車な言い方になりますが、今後も亡くなる事はないと思っております。それは自己中心的な人間としての存在の限界とも考える事があります。

昨年来のイギリスのEU離脱にはじまり、アメリカのトランプ大統領誕生、本日のフランスに於ける選挙も該当すると思いますが、この様な世界情勢も自国の利益を優先させる等の事が大きな原因であり、突き詰めて考えれば、自己中心的な人間の本質に起因していると考えられる事もあります。(次号に続きます。)

